

「実践でしか習わないこと」

ある医師のお話です。外科医になって16年の中堅医師が救急外来でのお仕事のことです。

20時33分ホットライン(救急車からの依頼)がなり、救急外来に緊張がはしる。医師になって1年目と2年目の医師がホワイトボードの救急隊からの情報を書き取る。「33歳男性、運動中に交通事故に巻き込まれ、右下腿部の骨折疑い。バイタル(身体の様子)は・・・。」2年目の先生が救急隊を受け入れる。そして、救急車がER(救命センター)に到着。一気にERに緊張が増す。2年目の医師が、救急隊からの申し送りを聞き、1年目の医師がレントゲンや血液検査に付き添う。検査結果は、診断は「骨折」。整形外科での手術が必要と判断。と、その時、16年目のベテラン医師が、患者さんへ更なる聞き取りを始める。それを見ていた2年目と1年目の医師が、同席して話を聞く。16年目の医師が更なる検査をオーダーする。CTとMRI(磁気を利用して身体の臓器を調べる検査)検査が進められる。見つけた。「骨肉腫だ。」と16年目の医師の発見。骨肉腫は、簡単に説明すると「骨のがん」である。これをどのように患者さんに告げることが必要かと。交通事故で骨折になり、過去に骨折回数が多いことを疑う医師が、たまたま発見した「がん」。患者さんにとっては、不幸なのか、それとも交通事故が原因の早期発見でよいことなのか。ここからは、医学部では習わないこと「がんの告知」である。1年目と2年目の医師には荷が重い。2年目の医師が伝えることになり、16年目の医師も同席。説明の途中で患者さんの気が動転し、対処できない2年目の医師をフォローするかのようになり16年目の医師が説明する。16年目の医師の説明から、患者さんが少しずつ受け入れ始める。説明を終え、骨折と骨肉腫の手術を受け入れようとする患者さんをみて、2年目の医師が思いを寄せる。「医学部では、がんの告知を習いませんでした。患者さん視点でお伝えすることの重要性を学びました。」と、2年目の医師。実際の現場でしか、習わないことの出来事である。

サッカーの現場も同様です。練習をして、練習試合を行ない、成果を発揮するために大会へ向かいます。練習や練習試合を行うまで過程が重要と感じます。選手も指導者も指導過程において、時に厳しく意見のぶつかり合いがあります。それは大会に勝つだけのものでしょうか。大会に勝つことの過程が重要であり、「厳しい練習」や「勉強との両立」、「反抗期」「指導者との関わり」を経験して学んでいきます。そして、子どもは成長していくにつれ、自分の意思をもつようになります。その時、選手が自分の意見をはっきり伝え、物事を考えていくことができるかが、成長に繋がってくることと感じます。大人になって、サッカーで学んだこと、学校や保護者の方、地域の方から学んだことを活かして欲しいと思います。

ここで、選手のサッカーノートを紹介します。GK加藤選手は「このシュートは、ここのポイントでキャッチしよう」。FWの梶原選手は、「自分より大きい相手には、どんなアプローチが有効か」という、様々な選手と関わって成長しています。また、指導者からの評価として、選手一人一人の良い所を並べてみました。フィグラールのジュニアユースの選手を数名紹介します。キャプテンの高野選手は、常にチームのことを考えてくれています。副キャプテンの跡部選手は、チームの雰囲気をよくするために常に前向きに、率先して動き、チームメイトの先導してくれます。脚の痛みから戦う井上選手は、後姿が大変、勇ましく感じます。小学6年生の佐藤選手は、中学選手の活動に入り、つらい練習にも耐え、自分より大きな選手に立ち向かっています。ここには、紹介できていないメンバーも大変すばらしい選手です。

サッカーの経験が、将来のどこかの場面で役立つために、成長を温かく見守っていきたいと思います。これからの選手の活躍を願い、見守り、たたえていただけますよう、よろしく願いいたします。微力ながら、選手の将来のために、指導員一同、力を合わせて指導に邁進していきます。

スクール選手全学年 連絡事項

● スクール選手の夏季合宿の募集について

ジュニアユース選手が夏休みに夏季の日程で合宿を行います。ジュニアユースは宿泊日数が長いので、小学生スクール選手は、ジュニアユース選手の合宿期間中に参加期間を選んで参加できるように致しました。

合宿宿泊先	期間	参加費用
山梨県青少年センター	7月31日(土)から8月4日(水)4泊5日	22,000円(4泊5日)
福島県磐梯青少年交流の家	8月12日(木)から8月17日(火)5泊6日	24,000円(5泊6日)

○山梨県青少年センターについて

残り2名の定員になります。対象は小学5.6年生及び外部中学生が対象になります。コンソルテ埼玉U13選手との合同合宿になります。

○福島県磐梯青少年交流の家について

残り4名の定員になります。対象は小学4~6年生及び外部中学生が対象になります。宿泊希望者が多い場合は、定員数を増やすことが可能です。また、引率者を増やします。

○参加期間選択制について

参加期間をご家庭にて選択できるようにしました。上記の合宿初日と最終日は、当チームマイクロバスにて送迎を行います。上記以外に日程(2泊3日、3泊4日)の場合は、各ご家庭の送迎とさせていただきます。また、宿泊数は2泊以上とさせていただきます。

○費用について

5泊6日24,000円、4泊5日22,000円、3泊4日21,000円、2泊3日20,000円になります。

○外部選手の参加について

中学生(中学3年生から中学1年生)及び小学生選手(4年生から6年生)の当チームに所属していない選手の参加も可能です。合宿費用については、保険料1,000円を上記の費用と合わせていただきます。

○合宿内容について

中学生は、地元の中学生チームとの交流試合や強化練習を行います。小学生は、宿泊施設での練習を中心に行います。また、山梨県や福島県の地元の名所や地産にふれてきます。

○定員について

山梨県合宿は、宿舍の制限により4名となります。福島県合宿は、定員はマイクロバスの乗車人数から4名となります。ただし、宿泊施設が大きいので、定員を増やすことが可能です。定員数を増やした場合、マイクロバスでの移動が出来ないため、各ご家庭での送迎が必要になります。

○申し込みについて

まずは、監督080-7523-2169までご連絡ください。先着順とさせていただきます。福島県合宿では、先着からマイクロバスの送迎が可能となります。ご希望の選手は、お早めにご連絡ください。

皆さんの参加をお待ちしております。